

カネソウ アレンジポスト

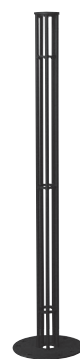
施工要領書

対象製品

スチール製アレンジポスト ベースプレートタイプ



RING-TB-AR



RING-RB-AR

この度は、カネソウ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、必ずこの「施工要領書」をご一読いただきますようお願いいたします。
間違った施工・取扱を行いますと、製品の損傷や使用上の不具合、けがなどの事故につ
ながる可能性がありますので、ご注意ください。

カネソウ株式会社

〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地

TEL (059) 377-3232 FAX (059) 377-3905

東京支店

TEL (03) 3433-6645

大阪営業所

TEL (06) 7639-5870

仙台営業所

TEL (022) 214-8088

福岡営業所

TEL (092) 432-2532

URL: <https://www.kaneso.co.jp/> E-mail: info@kaneso.co.jp

この内容は2023年12月現在のものです。仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

383-2K

コンクリート下地に取付けの場合

《用意するもの》

・材料

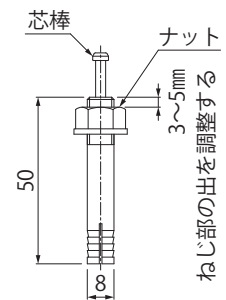
- ①M8×50芯棒打ち込み式あと施工アンカー：1台に4本使用します
(ステンレス製をおすすめします)
- ②ビニールテープ
- ③丸座金 (本体の傾きを調整する場合)

・工具

- ①コンクリート用振動ドリルまたはハンマードリル
(お近くのホームセンターでの工具レンタルのご利用がおすすめです)
- ②φ8.5 コンクリートドリルの刃 (コンクリートドリルビット)
- ③ブロアー (100円ショップでも入手できます)
- ④ハンマー
- ⑤スパナ (呼び13) またはモンキーレンチ

・保護具

- ①皮手袋 (回転工具を使用する際、軍手は厳禁です)
- ②保護メガネ (万一の飛散物から目を保護します)
- ③マスク (穴あけの際の、コンクリート粉の吸入を防ぎます)



《設置要領》

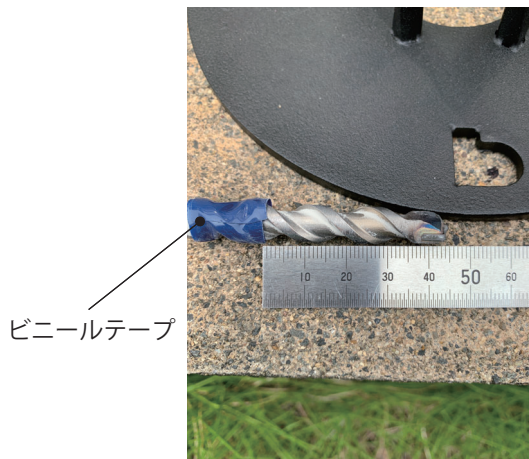
- 1** 設置位置を決め、ベースプレートの穴 (4ヶ所) の丸い部分の中心を狙って油性ペンなどで印をつけます。



- 2** 印をつけたら本体を一時、退けます。



3-1 $\phi 8.5$ のドリルの刃の先端から45mmの位置に、穴あけ深さの目印としてビニールテープを巻きます。



ビニールテープ



振動ドリル

3-2 ① でつけた印の中心にドリルの刃の先端をあてがい、垂直を維持しながら穴をあけ、45mmの目印のテープがコンクリート面に到達したら穴あけを止めてください。
注意：穴深さが浅い場合、アンカーの芯棒が打ち込みきれず、アンカー本来の効果が出ません。また、芯棒が突出したままになります。



3-3 4ヶ所とも穴あけが終わったら、穴の中に残ったコンクリート粉をブロアーで掃除してください。



ブロアー

- 4** あけた穴4ヶ所とベースプレートの穴4ヶ所を合わせます。



- 5** M8×50芯棒打ち込み式あと施工アンカーに付属のナット取付けます。アンカーねじ部の突出寸法を3～5mmに調整し穴に差し込みます。



- 6** アンカー差し込み後、アンカーの芯棒をハンマーで打ち込みます。芯棒はねじ部天端まで確実に打ち込んでください。



- 7** コンクリート下地の平坦・水平度により本体が傾く場合は、ベースプレートの下に丸座金を差し込み、鉛直の調整を行ってください。

- 8** スパナ（呼び 13）またはモンキーレンチでナットを4ヶ所とも本締めすれば設置完了です。

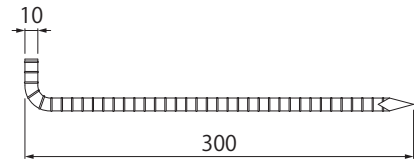


碎石路盤に取付けの場合

《用意するもの》

・材料

- ①鉄製異形打ち込みLカン：1台に4本使用します
($\phi 10$ L=300をおすすめします。ホームセンターで入手できます)
注意： $\phi 12$ 以上は本体ベースプレートの穴に入りません。



- ②速乾モルタル (1kg入り)

碎石路盤は碎石の粒調により、締め固まり度合いが異なるため、鉄製異形打ち込みLカンによる固定が効かない場合があります。

その場合は、速乾セメント (30分硬化型または60分硬化型のインスタントセメント約1kg) をお買い求めの上、設置する碎石部分に適量を盛り、その上から水を撒きます。(これを3回程度繰り返すことでより効果が得られます。)

セメントと水により碎石の空隙を埋めることで固定強度を増すことができます。

所定の硬化時間程度放置し、状況を確認してください。

・工具

ハンマー

・保護具

- ①皮手袋
- ②保護メガネ (万一の飛散物から目を保護します)
- ③マスク (補強する場合、セメント粉の吸引を防ぎます)

《設置要領》

- 1 設置位置を決め、碎石路盤の平坦度をハンマーで叩くなどして整えます。
- 2 本体を設置位置に立てます。
- 3 ベースプレートの穴 (4ヶ所) の丸い部分に、鉄製異形打ち込みLカンの先端を突き当て、極力垂直を保ちながらハンマーで打ち込みます。(図-1参照)
- 4 碎石路盤中に、鉄塊やコンクリート塊などがあると、鉄製異形打ち込みLカンは打ち込むことができない場合があります。その場合は、少し位置をずらす、または短い鉄製異形打ち込みLカンをご用意いただき、同様に打ち込みを行ったあと速乾モルタルで硬化させるなどの補強を行ったうえでお使いください。碎石路盤の平坦・水平度により本体が傾く場合は、ベースプレートの下に粒径の細かな碎石を押し込むなどして本体の鉛直調整を行ってください。

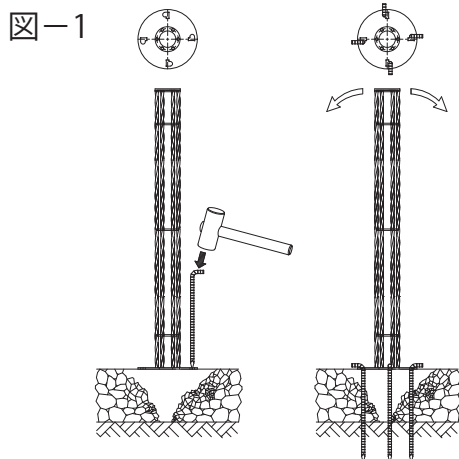


図-1

《セメントによる補強要領》



適量のセメントを盛る

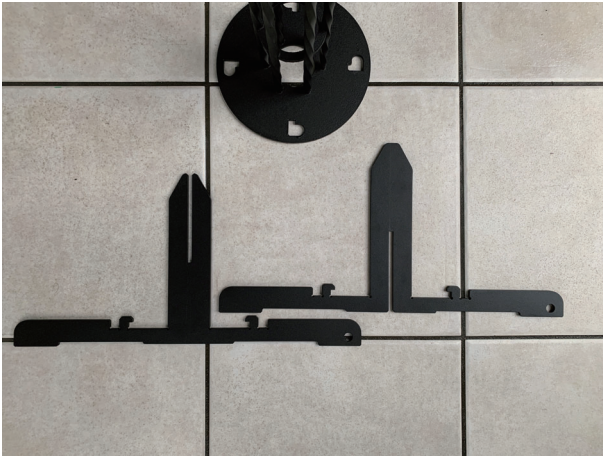


水を撒いてセメントを流し込む

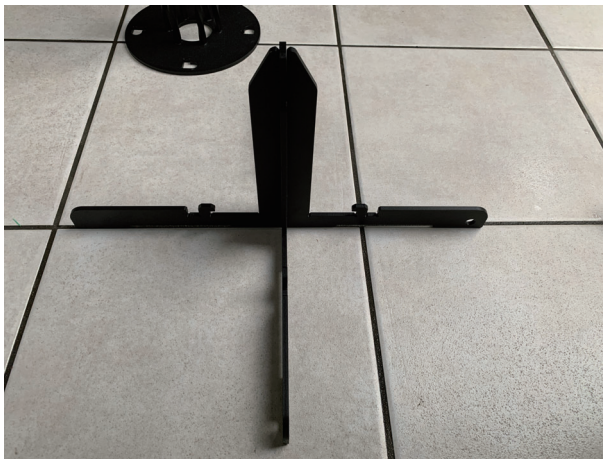
支持脚を使用する場合

《設置要領》

- 1 支持脚部材のスリット（切り込み）の上下方向を確認してください。



- 2 スリットをはめ込み十字になるように組み立てます。



- 3 本体を十字支持脚の真ん中の突起に差し込みます。

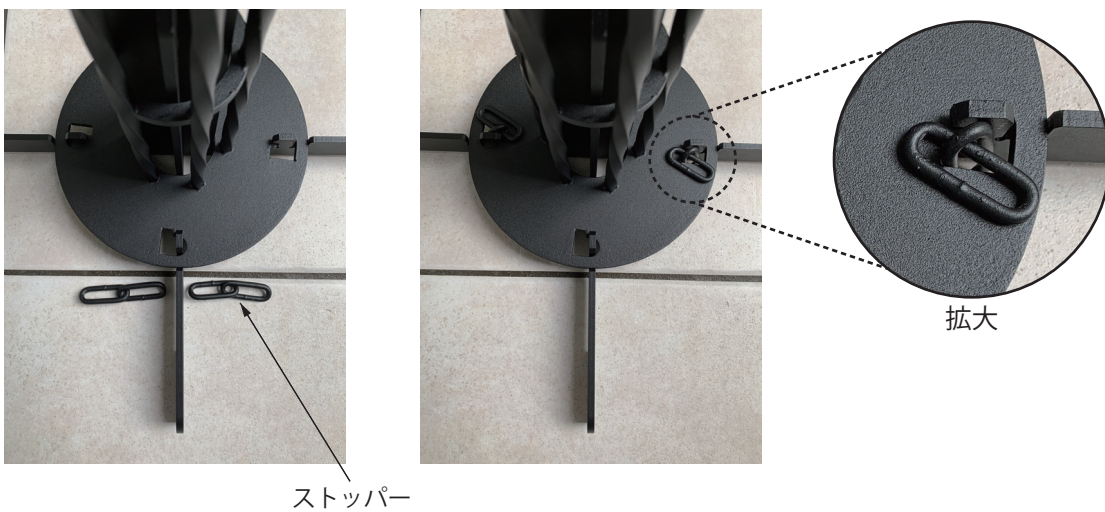


4 本体ベースプレートの4穴が十字支持脚の突起部にはまるように立て込みます。

5 本体を時計回りに回転させます。



6 ベースプレートの4穴と十字支持脚の突起部にできたすきまに、付属のストッパーを差し込みます。移動時の支持脚の外れが防止できます。



鎖の取付けについて

- ①オプションの鎖の両端部のCリンクのスナップを指で押さえて、本体上段のバーに引っ掛けます。



- ②1メートルスパンでご使用の場合、長さ100cm（1m）の鎖で約10cmたわみます。

